

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

② 施設・事業所情報

名称：GENKIDS星川保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：小野澤 淳	定員（利用人数）： 56名
所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区川辺町2-5 パークタワー横濱星川1階	
TEL：045-340-3351	ホームページ： <a href="https://www.nihonhoiku.co.jp">https://www.nihonhoiku.co.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2013年4月	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス	
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員 8名
専門職員	栄養士 3名 調理師 1名
施設・設備 の概要	保育室：6 調理室：1 乳幼児トイレ：各1 多目的トイレ：1 応接室：1 シャワー設備：3 事務室：1

③理念・基本方針

- 1) 安全&安心を第一に保育・育成を実施します
- 2) いつまでも思い出に残る施設となるよう日々の保育を大切にします
- 3) 職員が楽しく働けることで子どもたちを笑顔にします
- 4) 地域とつながり支え合う施設として社会に貢献します
- 5) 常に時代が求める子育てを実践し続けます

④施設・事業所の特徴的な取組

立派に成長する可能性を秘めているこどもたち。保育園で色々な人と関わるなかで、驚くような成長を見せてくれます。そんな、輝いている瞬間に目を向け、優しく寄り添い、保育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 8月 1日（契約日） ～ 2023年 3月 31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥総評

◇特長

1 子どもの育ちを大切にする保育

「一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行う」と保育方針に示しています。家庭と園の生活の流れや連続性を大切にしています。職員は、子ども一人ひとりの日々の様子、興味を持ったこと、活動に取り組む姿、友だちや職員との関わりなどを良く観察する努力をしています。子どもの今の姿から「子どもにとって何が必要か、何が大切か」を考え、援助できるようにしています。園長はじめ全職員で、各種会議、打ち合わせ、引継ぎ連絡ノートなどで情報を共有し、子どもの様子を伝えあっています。子どもの状況に合わせて、環境の工夫をしています。活動の取組と子どもの様子を丁寧に保護者に伝え、子どもの育ちを共有しています。

## 2 食に関心をもてるような工夫

クラスごとの年間指導計画をもとに、給食スタッフとクラス担当職員が協力し栽培、食材に触れる、食事マナー、クッキング、食文化、栄養に関する話などの取組を積極的に行っています。園独自で味噌づくりや、保土ヶ谷区のジャガイモ作りの企画に参加しています。食事マナーの取組（食具を揃える）で、「マナーマスター」の賞状を給食室からもらったクラスもありました。給食スタッフから子ども達へ感謝の言葉も添えられています。

保護者向けにも、郷土食やその地方の特色などを紹介した用紙を掲示したり、「給食相談ボックス」を置いています。「給食相談ボックス」は苦手な食材の調理方法やメニューレシピの問い合わせ、聞きたいことなど何でも受け付けています。質問にはおたよりや掲示で答えています。

### ◇今後期待される点

#### 1 運営法人の合併に伴う様々な見直し

今年度から運営法人が合併し、様々なことを新しい形式に合わせていかななくてはならない状況でした。例えば、書類の様式が変わり、それに慣れるために時間が必要になっています。また、新しいマニュアルを基にしてやり方を変更しなくてはならないところもあります。優先順位を付けて、1つずつ確実に新しい形式に合わせていき、体制を安定させることが望まれます。

#### 2 全体的な計画や長期・中期計画など、職員も参画しての計画策定

全体的な計画は本部が作成したものを土台に園長が作成しています。また、園の将来の方向性を示す長期・中期計画についても本部が用意した書式に沿って園長が単独で作成しています。これらの計画は保育園を運営していく上で中核となるもののため、現場の職員の意見等も把握し、反映させていくことが望ましいと考えられます。そして、進捗状況等を定期的に振り返る機会を設け、PDCAサイクルを回していき着実に実行していくしくみづくりも必要になってきます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価では、当園の良い所とさらに良くする為に多角的に視点から見て頂き、今後改善が必要な点も教えて頂き大変参考となりました。

良い所は、引き続き園の特徴としてブラッシュアップしながらさらなる向上に向けて職員一同、子育て支援施設としての自覚を持ち園の役割をフルに発揮しながら地域社会・子育て世代を支えてまいります。

改善点については、適切に運営する為に必要な事だと自覚し、一つずつ向き合い職員一同で考え、取り入れ、実行し、振り返りながらしっかりと定着出来るように日々、意識をしていきたいと思っております。

当園の、現在位置を知るととても意義のある時間となりました。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり